

【テーマ 上北沢ホームショートステイの新たな役割  
～本人に焦点をあてたサービスを通して～】

【発表者：世田谷区立特別養護老人ホーム上北沢ホーム】

【サービス係 瀬田みゆき・落合美夏】

1 はじめに 課題提起

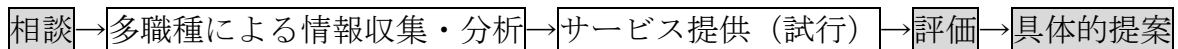
上北沢ホームショートステイでは、利用者自身に焦点をあてた個別ケアに取り組んでいる。

個別ケア充実のために行う利用期間前後のやりとりの中で、家族やケアマネジャーから、介護に関する相談をいただく機会が増えている。

上北沢ホームショートステイは、利用期間中に本人を「お預かりする」という家族のレスパイト目的の支援にとどまらず、在宅生活の充実や継続を支援するチームの一員として、特別養護老人ホームの機能を活用しながら、在宅介護に役立つ方法やケアプランなどを家族やケア担当者と一緒に考える役割を、積極的に担えないだろうか。

2 上北沢ホームが取り組んでいる新たなショートステイの役割とは

- ①多数の専門職によるケアマネジメント（情報収集、サービス提供、評価）ができる
- ②24時間365日体制で、直面する介護課題に集中的に相談に応じられる
- ③本人に対する具体的なプラン提案や、介護方法の工夫助言などができる



3 上北沢ホームの取り組み ～事例を通して～

すべての利用者が安心して過ごすことのできる「生活の場」＝「在宅」の提供

(1) 個別ケアプランに合わせたケア

- ・本人の状況や希望に合わせた環境づくり
- ・集団で過ごす「生活の場」の活用
- ・個別の楽しみに応えるサービス
- ・特別養護老人ホームだからできるサービス

(2) 家族やケアマネジャーからの相談対応例

- ・ベッドや車椅子での姿勢保持方法について（理学療法士、看護師、介護士等）
- ・介護用品の適合助言や機種を選定について（理学療法士、看護師、介護士等）
- ・口腔ケアの状況や方法の工夫、用具の選び方について（歯科衛生士、看護師等）
- ・栄養バランスや献立の作り方について（管理栄養士、介護士等）

(3) 家族との丁寧な情報のやりとり

- ・利用前の在宅での状況の把握
- ・利用中の情報提供
- ・利用後の様子確認

4 むすびに 今後の取り組みと課題